

平成 22 年度福島町一般会計歳入歳出決算説明資料

平成 23 年度（平成 22 年度決算）
事務事業評価シート【町長部局】

総務課企画グループ

行政評価結果表

整理番号	グループ名	事務事業名	項目別点数評価					項目別評価	担当課評価	庁内評価	外部評価
			必要性	有効性	達成度	効率性	合計				
1	総務グループ	町内会連合会助成費	2	3	2	1	8	A	A	A	A
2	総務グループ	文書広報費	3	2	1	2	8	A	A	A	A
3	総務グループ	町有財産管理費	2	2	2	1	7	A	A	A	A
4	総務グループ	生活改善センター運営費	3	2	1	2	8	A	A	A	A
5	企画グループ	電子計算費	2	2	2	2	8	A	A	A	A
6	企画グループ	電子自治体推進費	2	2	2		6	B	A	A	A
7	住民グループ	高齢者行事費	2	3	1	1	7	A	A	A	A
8	住民グループ	墓地維持管理費	4	2	1	2	8	A	A	A	A
9	住民グループ	ごみ減量化対策費	4	2		1	7	B	B	B	B
10	住民グループ	火葬場費	5	1	2	2	10	A	A	A	A
11	福祉グループ	“がん”なんかには負けないぞ事業費	3	2	1	2	8	A	A	A	A
12	福祉グループ	健康運動普及事業費	3	1	1	2	7	A	A	A	A
13	福祉グループ	医療対策費	5	3	1	1	10	B	A	A	A
14	福祉グループ	生活支援ハウス管理運営費	7	2	1	3	13	A	A	A	A
15	農林グループ	農業振興費	3	2	1		6	B	A	A	A
16	農林グループ	森林公園管理費	3	1	1	-1	4	B	B	B	B
17	水産グループ	試験養殖事業費	3	1	1	2	7	A	A	A	A
18	水産グループ	各船揚場整備事業費	3	2	2	1	8	A	A	A	A
19	水産グループ	みなと交流館管理運営費	3	1	1	1	6	B	A	A	C
20	商工グループ	横綱の里づくり費	3	3	1	-1	6	B	A	A	A
21	商工グループ	トンネルメモリアルパーク管理費	4	1		2	7	B	A	A	B
22	商工グループ	特産品センター管理費	4	2		1	7	B	A	A	B
23	建設グループ	道路橋梁総務費	4	2	1		7	B	A	A	A
24	建設グループ	公園費	4	1	1	2	8	A	A	A	A
25	学校教育グループ	教育関係団体・大会参加助成費	5	3	2	2	12	A	A	A	A
26	学校教育グループ	児童生徒輸送費	7	3	2	3	15	A	A	A	A
27	学校教育グループ	基礎学力向上支援事業費	5	2	2	2	11	A	A	A	A
28	学校教育グループ	幼稚園管理費	6	2	1	1	10	B	A	A	A
29	生涯学習グループ	芸術・文化費	4	2	1	2	9	A	A	A	A
30	生涯学習グループ	文化財保護費	3	2	1	2	8	A	A	A	A
31	生涯学習グループ	総合体育館運営費	4	2	1	2	9	A	A	A	A
32	生涯学習グループ	福祉センター運営費	4	2	2	1	9	A	A	A	A

※整理番号25～32については、「福島町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価に関する報告」によるので省略している。

平成23年度（平成22年度決算）事務事業評価シート

平成23年 8月 9日 作成

		担当課	総務グループ					
事務事業名		町内会連合会助成費			施策コード	225254		
施策の体系	大項目	快適な生活環境の整備			法的根拠等	法令	条例	その他
	中項目	安全な環境の整備				直営	委託	その他
	小項目	コミュニティ活動等			実施方法			
	財務名称	町内会連合会助成費						
事業概要	福島町町内会連合会へ助成金を交付する。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）	福島町町内会連合会			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）			
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）	福島町町内会連合会の財政基盤を確立し、町内住民が親和協力して住民福祉の増進や住みよい町づくりの推進を図ることを目的とする。			福島町町内会連合会（29町内会）の各種事業にかかる活動資金を助成している。			
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）		計	1	点			
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点		追加事由	1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）			
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点	(説明)関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点	住民自治活動の中心となる町内会の連合会へ助成し財政基盤を確立する。				
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等		計	1	点			
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）	-		
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	(説明)妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点	町内の人口減少と高齢化が進んでおり、一人暮らし老人の問題、青少年の健全育成の課題など、地域住民の参加がますます重要となっています。住民連帯の場である各町内会の組織体制の充実強化を図るうえで必要です。				
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性		計	3	点			
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	(説明)有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。	1点	町内会連合会は、町民との「協働のまちづくり」を目指す町にとって重要な組織であり、町民参加の呼びかけや情報提供など、様々な面において行政との橋渡し役を担っています。				
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定		計	2	点			
	区分	指標（算式）		単位	平成20年実績	平成21年実績	平成22年実績	平成22年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	総会	回	1	1	1	1
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	役員会	回	2	2	1	2
		(算式)						
		指標	町内世帯数	世帯	2,394	2,386	2,346	2,370
		(算式)						
		指標	研修会参加者	人	19	25	14	20
		(算式)						
	活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	(説明)成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。					
	意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)	1点	各町内会の協力が必要な全町クリーン作戦や交通安全、防犯啓発等の各種活動は、町内会が中心となって実施しています。					
	あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計	点																																																																																																																												
	区分	単位	平成20年決算額	平成21年決算額	平成22年決算額	平成22年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額																																																																																																																										
	事業費	千円	315	315	315		低下している	1点																																																																																																																										
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない																																																																																																																										
	地方債	千円				助成金	315	上昇している																																																																																																																										
	その他	千円						説明	自立プラン以降同額(315千円)で推移している。																																																																																																																									
	(2)手法の効率化				計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																										
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1	点	同額予算(315千円)で助成している。																																																																																																																										
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1	点																																																																																																																											
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1	点																																																																																																																											
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																													
	A		<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>点数</th></tr> <tr><td>1 必要性</td><td>2</td></tr> <tr><td>2 有効性</td><td>3</td></tr> <tr><td>3 達成度</td><td>2</td></tr> <tr><td>4 効果性</td><td>1</td></tr> </table>		項目	点数	1 必要性	2	2 有効性	3	3 達成度	2	4 効果性	1	<table border="1"> <tr><th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8~</th><th>高</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>A</td><td></td><td></td><td>6</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>B</td><td></td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>低</td></tr> </table>							0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高							A			6										5										4										3										2										1							B			0										-1										-2									
項目	点数																																																																																																																																	
1 必要性	2																																																																																																																																	
2 有効性	3																																																																																																																																	
3 達成度	2																																																																																																																																	
4 効果性	1																																																																																																																																	
0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																									
						A			6																																																																																																																									
									5																																																																																																																									
									4																																																																																																																									
									3																																																																																																																									
									2																																																																																																																									
									1																																																																																																																									
						B			0																																																																																																																									
									-1																																																																																																																									
									-2																																																																																																																									
									低																																																																																																																									
担当課評価	<p>上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。</p> <p>評価は、次のA~Dによります。</p>																																																																																																																																	
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																	
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																												
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																	
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																												
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																												
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																												
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																	
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																												
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																												
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																												
説明	D 事業の抜本的見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																	
	廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																									
	事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難	その他																																																																																																																							
一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																													
町内会連合会の存在は、町民との「協働のまちづくり」を目指す町にとって重要な存在であるため、現行レベルの助成をすることが必要と考えます。																																																																																																																																		
二次評価	<table border="1"> <tr> <td>A 現状にて事業を継続または拡充</td> <td>B 事業の進め方の改善・検討が必要</td> <td>C 事業規模、内容の見直しが必要</td> </tr> <tr> <td>D 事業の抜本的見直しの検討 ⇨</td> <td>廃止</td> <td>統合</td> <td>縮小</td> <td>凍結</td> <td>新たな事業への転換</td> </tr> </table>										A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要	C 事業規模、内容の見直しが必要	D 事業の抜本的見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																															
	A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要	C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																															
D 事業の抜本的見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																													
<p>必要性は認めるが、事業内容、補助金の活用方法等の見直し検討は今後必要である。</p>																																																																																																																																		
三次評価	<table border="1"> <tr> <td>A 現状にて事業を継続または拡充</td> <td>B 事業の進め方の改善・検討が必要</td> <td>C 事業規模、内容の見直しが必要</td> </tr> <tr> <td>D 事業の抜本的見直しの検討 ⇨</td> <td>廃止</td> <td>統合</td> <td>縮小</td> <td>凍結</td> <td>新たな事業への転換</td> </tr> </table>										A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要	C 事業規模、内容の見直しが必要	D 事業の抜本的見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																															
	A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要	C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																															
D 事業の抜本的見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																													
<p>説明</p>																																																																																																																																		

平成23年度（平成22年度決算）事務事業評価シート

平成23年 6月29日 作成

		担当課	総務グループ					
事務事業名		文書広報費		施策コード	224246			
施策の体系	大項目	快適な生活環境の整備		法的	法令	条例	その他	
	中項目	快適な環境の整備		根拠等	広報編集発行規程			
	小項目	情報通信		実施	直営	委託	その他	
	財務名称	文書広報費		方法				
事業概要	町広報誌を発行する。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	町民			町民に向けて、広報ふくしまを毎月1回発行している。				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）			町の政策や取り組み、町の動きや各種行事などの情報提供・発信を行い、分かりやすく親しみやすい広報誌づくりに努める。				
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	1点			
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）			
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		広報編集発行規程により毎月1日発行が規定されている。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）			
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		町民への情報提供の手段として、ホームページの活用があるが、全ての町民がパソコンを利用できる環境にないことから、広報誌は必要と考える。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		町より行政の情報提供等を行い、住民意識の向上が図られる。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	1	点		
	区分	指標（算式）		単位	平成20年実績	平成21年実績	平成22年実績	平成22年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	町広報誌の発行	回	12	12	12	12
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	町広報発行部数	部	2,660	2,630	2,570	2,550
		(算式)						
		指標	発行ページ数	ページ	228	282	260	264
		(算式)						
		指標	広報配布世帯	世帯	2,394	2,386	2,346	2,351
		(算式)						
	活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
	意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		月1回広報誌を発行することにより、情報の提供が行われている。				
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移		計	点																																																																																																																												
	区分	単位	平成20年決算額	平成21年決算額	平成22年決算額	平成22年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																							
	事業費	千円	1,074	1,247	1,232			低下している	1点																																																																																																																							
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																							
	地方債	千円				需用費	1,204,411	上昇している	-1点																																																																																																																							
	その他	千円				負担金・補助及	15,000	説明 1ページ当たりの単価は1.9円で契約。(H17より変更なし)																																																																																																																								
(財源内訳)	一般財源	千円	1,074	1,247	1,232																																																																																																																											
(2)手法の効率化		計	2	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																											
現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。				1点	経費節減の観点から、各課の広報・啓発は、パンフレットやチラシなどの作成を抑制して、広報誌の掲載を優先して行います。																																																																																																																											
執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。				1点																																																																																																																												
外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。				1点																																																																																																																												
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																											
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 必要性</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2 有効性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3 達成度</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4 効果性</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		項目	点数	1 必要性	3	2 有効性	2	3 達成度	1	4 効果性	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>低</td> </tr> </tbody> </table>					0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高										6							A			5										4										3										2										1							B			0										-1										-2									
項目	点数																																																																																																																															
1 必要性	3																																																																																																																															
2 有効性	2																																																																																																																															
3 達成度	1																																																																																																																															
4 効果性	2																																																																																																																															
0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																							
									6																																																																																																																							
						A			5																																																																																																																							
									4																																																																																																																							
									3																																																																																																																							
									2																																																																																																																							
									1																																																																																																																							
						B			0																																																																																																																							
									-1																																																																																																																							
									-2																																																																																																																							
									低																																																																																																																							
担当課評価	A																																																																																																																															
上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																																
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																															
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																										
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																															
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																										
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																										
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																										
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																															
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																										
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																										
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																										
説明	D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																															
	廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																							
	事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難	その他																																																																																																																					
	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。 町の情報提供の方法として重要と考える。また、ホームページにおいて広報を閲覧できるが、全ての町民がパソコンを利用できる環境にないことから広報誌は必要である。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																										
二次評価	庁内委員会評価																																																																																																																															
	A 現状にて事業を継続または拡充			B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																									
三次評価	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨			廃止		統合		縮小		凍結	新たな事業への転換																																																																																																																					
	説明 現状のまま事業継続。																																																																																																																															
A 現状にて事業を継続または拡充																																																																																																																																
B 事業の進め方の改善・検討が必要					C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																											
D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨					廃止		統合		縮小		凍結	新たな事業への転換																																																																																																																				
説明																																																																																																																																

平成23年度（平成22年度決算）事務事業評価シート

平成23年 6月29日 作成

		担当課	総務グループ					
事務事業名		町有財産管理費			施策コード	551512		
施策の体系	大項目	構想推進のために			法的	法令	条例	その他
	中項目	行財政の運営			根拠等	福島町公有財産規則		
	小項目	財政の健全運営			実施	直営	委託	その他
	財務名称	町有財産管理費			方法			
事業概要	町有財産を適正に維持管理する。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	町有財産			財産台帳の整備 委託管理（一部施設） 建物災害共済（火災保険）の加入 建物の維持、修繕 草刈り、除雪の実施				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
			町有財産を適正に維持管理し、住民の生活環境の維持に努める。 土地・建物の貸付契約を行い、財産の有効活用と財源の確保を図る。					
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	1	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由		1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		公有財産規則により、適正な管理を行う。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-	
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		町有地の適正な貸し付け取得・処分及び町有建物の維持管理			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		適正な維持管理と貸付による有効活用がされている。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	2	点		
	区分	指標（算式）		単位	平成20年実績	平成21年実績	平成22年実績	平成22年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	貸付件数（土地+建物）	件	76	75	82	75
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	貸付料（土地+建物）	円	9,382,809	9,374,404	8,241,163	9,040,000
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		町有財産の適正な維持管理を行うことにより、住民の快適な生活環境の維持が図られ、町有地・町有建物の貸付により歳入確保に寄与している。			
		あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点					

4 効果性	(1)事業費の推移				計	点							
	区 分	単位	平成20年決算額	平成21年決算額	平成22年決算額	平成22年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額					
	事業費	千円	9,006	9,972	6,358		低下している	1点					
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない					
	地方債	千円				役務費	5,532,647	上昇している					
	その他	千円				委託料	252,150	説明					
	一般財源	千円	9,006	9,972	6,358								
	(2)手法の効率化				計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。					
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1	点	火災保険料が予算の大部分を占めている。					
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1	点						
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1	点						
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高								
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: 50px; margin: 0 auto;">A</div>		項目		点数		0 1 2 3 4 5 6 7 8~						
			1	必要性	2	4							
			2	有効性	2								
			3	達成度	2	3							
	4	効果性	1										
					高 達成度+効果性								
					6								
					5								
					4								
				3									
				2									
				1									
				0									
				-1									
				-2 低									
担当課評価		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA～Dによります。											
A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)													
現状のまま事業を継続		事業を拡充して継続											
B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)													
事業の簡素化、効率化による改善		執行体制の見直し(外部委託等)による改善											
事業手法の見直しによる改善		住民参加等の推進による改善											
事業内容や契約方法等の見直しによる改善		その他効果的・効率的手法の検討による改善											
C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)													
制度・事業内容の全面的な見直しを検討		対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討											
必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討		他の事業、類似事業への統合・転換を検討											
計画期間の延伸、事業費平準化等を検討		その他											
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)													
廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換					
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨		廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他					
説明		一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。 町有財産が適正に管理され、有効に活用されています。				今後の改善策等を具体的に記入します。 未利用地の活用や処分可能な土地については売払いを進める。							
二次評価	庁内委員会評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: 50px; margin: 0 auto;">A</div>		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換				
			説明 維持補修の年次計画を策定し、適正な維持管理を図ることが必要である。										
三次評価	三次評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: 50px; margin: 0 auto;">A</div>		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換				
			説明										

平成23年度（平成22年度決算）事務事業評価シート

平成23年 6月29日 作成

		担当課	総務グループ					
事務事業名		生活改善センター運営費			施策コード	225254		
施策の体系	大項目	快適な生活環境の整備			法的	法令	条例	その他
	中項目	安全な環境の整備			根拠等	生活改善センター条例		
	小項目	コミュニティ活動等			実施	直営	委託	その他
	財務名称	生活改善センター運営費			方法			
事業概要	生活改善センターを適正に維持管理する。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	町所有建物			委託による管理 建物の維持、修繕 草刈り、除雪の実施				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）			町所有建物を適性に維持管理する。				
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由		1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		生活改善センター条例により管理運営を行う。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-	
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		町民の生活環境改善及び生活文化の向上を図るため必要な施設です。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		ふれあい教室や特定検診など、町民の日常生活にかかせない事業を定期的開催しており、近隣住民の参加が多数あります。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	1	点		
	区分	指標（算式）		単位	平成20年実績	平成21年実績	平成22年実績	平成22年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	利用回数	回	32	40		
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	利用者数	人	797	591		
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		生活改善センターを適正に維持管理することで、町の各種事業の実施など、近隣住民の生活環境等により寄与している。			
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移		計			点																																																																																																																									
	区 分	単位	平成20年決算額	平成21年決算額	平成22年決算額	平成22年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																						
	事業費	千円	775	562	597			低下している	1点																																																																																																																						
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																						
	地方債	千円				委託料	271,600	上昇している	-1点																																																																																																																						
	その他	千円				需用費	245,961	修繕費以外の予算は同額である。																																																																																																																							
(財源内訳)	一般財源	千円	775	562	597			説明																																																																																																																							
(2)手法の効率化		計			2		点																																																																																																																								
現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1点		(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																								
執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1点		管理は委託しており、必要最小限の予算措置である。																																																																																																																								
外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1点																																																																																																																										
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低		必要性+有効性		高																																																																																																																						
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 必要性</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2 有効性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3 達成度</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4 効果性</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		項目	点数	1 必要性	3	2 有効性	2	3 達成度	1	4 効果性	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>低</th> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> </tbody> </table>		低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高								A			6											5											4											3											2											1								B			0											-1											-2	達成度+効果性
項目	点数																																																																																																																														
1 必要性	3																																																																																																																														
2 有効性	2																																																																																																																														
3 達成度	1																																																																																																																														
4 効果性	2																																																																																																																														
低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																					
							A			6																																																																																																																					
										5																																																																																																																					
										4																																																																																																																					
										3																																																																																																																					
										2																																																																																																																					
										1																																																																																																																					
							B			0																																																																																																																					
										-1																																																																																																																					
										-2																																																																																																																					
担当課評価	A		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA～Dによります。																																																																																																																												
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																														
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																									
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																														
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																									
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																									
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																									
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																														
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																									
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																									
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																									
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																															
廃止		統合			縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																						
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難	その他																																																																																																																					
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																									
	現在、福島町生活改善センターが休止中であり、岩部・吉岡生活改善センターの2施設を運営しています。生活改善センターは、近隣住民の日常生活にかかすことのできない施設となっていることから、建物の維持管理を行うことは必要です。																																																																																																																														
二次評価	庁内委員会評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																						
			D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小																																																																																																																						
	説明		町内各会館等の再編計画などで見直しを進める必要がある。																																																																																																																												
三次評価	三次評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																						
			D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小																																																																																																																						
	説明																																																																																																																														

平成23年度（平成22年度決算）事務事業評価シート

平成23年 7月 1日 作成

		担当課	企画グループ					
事務事業名		電子計算費		施策コード		551511		
施策の体系	大項目	構想推進のために		法的根拠等	法令	条例	その他	
	中項目	行財政の運営						
	小項目	行政運営の改革		実施方法	直営	委託	その他	
	財務名称	電子計算費						
事業概要	基幹系LAN行政業務の電算化に伴う事務 基幹系LAN...財務会計システムや住民福祉システムを扱うネットワーク。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	職員が日常使用する電子計算機器（プリンター管理、トナーの補充）の管理及び基幹系システムの通信料の管理。			消耗品購入、電子計算機器修繕 システム通信料				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
業務に支障が生じないよう管理を行う。								
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	1	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	職員が使用する電子計算機器であり、故障等があると行政サービスに支障が生じる。	1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）	-		
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		職員が業務で使用する機器等の運用であり、町で行うのが必然である。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法当が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）	-		
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		電子計算機器等に支障が生じると行政サービスが提供出来なくなる			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		電子計算機器等の管理を行うことにより、円滑な行政運営が図れる			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	2	点		
		区分	指標（算式）	単位	平成20年実績	平成21年実績	平成22年実績	平成22年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	管理するプリンター台数	台	16	16	16	16
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	プリンタートナー購入額	円	978,180	871,500	485,520	998,000
		(算式)						
		指標	故障などの苦情件数	件		5	5	0
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		常時使用している機器であり、職員の業務や住民サービスに支障が無いので成果・効果を達している			
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計	1	点																																																																																																																																													
	区分	単位	平成20年決算額	平成21年決算額	平成22年決算額	平成22年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																																											
	事業費	千円	2,076	2,211	1,584			低下している	1点																																																																																																																																											
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																																											
	地方債	千円				需用費	853,020	上昇している	-1点																																																																																																																																											
	その他	千円				使用料及び賃借	418,320	説明 消耗品の購入が主となり、購入数により費用の減少がある。																																																																																																																																												
	一般財源	千円	2,076	2,211	1,584																																																																																																																																															
	(2)手法の効率化				計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																																												
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。				1点	消耗品の購入が主となることから現在の手法から変更できることが無い。																																																																																																																																														
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。				1点	職員で消耗品の節約を行い、行政運営に支障が生じないように経費節減に努めるしかない。																																																																																																																																														
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。				1点																																																																																																																																															
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																																															
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th colspan="2">点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>2</td> <td rowspan="2">4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>2</td> <td rowspan="2">4</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	2	4	2	有効性	2	3	達成度	2	4	4	効果性	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">低</th> <th colspan="6">必要性+有効性</th> <th colspan="2">高</th> </tr> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>低</td> </tr> </tbody> </table>							低		必要性+有効性						高		0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高										6										5										4										3										2										1										0										-1										-2									
	項目	点数																																																																																																																																																		
1	必要性	2	4																																																																																																																																																	
2	有効性	2																																																																																																																																																		
3	達成度	2	4																																																																																																																																																	
4	効果性	2																																																																																																																																																		
低		必要性+有効性						高																																																																																																																																												
0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																																											
									6																																																																																																																																											
									5																																																																																																																																											
									4																																																																																																																																											
									3																																																																																																																																											
									2																																																																																																																																											
									1																																																																																																																																											
									0																																																																																																																																											
									-1																																																																																																																																											
									-2																																																																																																																																											
									低																																																																																																																																											
担当課評価	<p>上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。</p> <p>評価は、次のA～Dによります。</p>																																																																																																																																																			
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																																			
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																																														
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																																			
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																														
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																																														
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																														
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																																			
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																														
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																														
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																																														
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																																				
廃止		統合			縮小			凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																										
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他																																																																																																																																									
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																														
	基幹系行政業務を行う上での基本的な必要経費である。					現在と同様に必要経費しか執行しないことで継続する。																																																																																																																																														
二次評価	<table border="1"> <tr> <td>A 現状にて事業を継続または拡充</td> <td colspan="3">B 事業の進め方の改善・検討が必要</td> <td colspan="4">C 事業規模、内容の見直しが必要</td> </tr> <tr> <td>D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨</td> <td>廃止</td> <td>統合</td> <td>縮小</td> <td>凍結</td> <td colspan="4">新たな事業への転換</td> </tr> </table>										A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要				D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																												
	A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																															
	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																																														
説明	現状のまま事業継続。																																																																																																																																																			
三次評価	<table border="1"> <tr> <td>A 現状にて事業を継続または拡充</td> <td colspan="3">B 事業の進め方の改善・検討が必要</td> <td colspan="4">C 事業規模、内容の見直しが必要</td> </tr> <tr> <td>D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨</td> <td>廃止</td> <td>統合</td> <td>縮小</td> <td>凍結</td> <td colspan="4">新たな事業への転換</td> </tr> </table>										A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要				D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																												
	A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																															
	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																																														
説明																																																																																																																																																				

平成23年度（平成22年度決算）事務事業評価シート

平成23年 7月 1日 作成

		担当課	企画グループ					
事務事業名		電子自治体推進費			施策コード	551511		
施策の体系	大項目	構想推進のために			法的根拠等	法令	条例	その他
	中項目	行財政の運営						
	小項目	行政運営の改革			実施方法	直営	委託	その他
	財務名称	電子自治体推進費						
事業概要	庁内LAN系行政事務の電算化に伴う事務 庁内LAN...インターネットやメール及び職員が毎日使用している パソコンのネットワーク。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	職員が日常使用する庁内LAN系の電子計算機器の管理（パソコンやプリンターの修理、システムの購入）			消耗品の購入 電子計算機器の購入、修理				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
			業務に支障が生じないよう管理を行う					
1 必要性	(1) 町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	1	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	職員が使用する電子計算機器であり、故障等があると行政サービスに支障が生じる	1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）	-		
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点	（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点	職員が業務で使用する機器等の運用であり、町で行うのが必然である。				
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2) 社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）	-		
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点	電子計算機器等に支障が生じると行政サービスが提供出来なくなる。				
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1) 成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点	電子計算機器等の管理を行うことにより、円滑な行政運営が図れる。				
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1) 達成度の測定			計	2	点		
		区分	指標（算式）	単位	平成20年実績	平成21年実績	平成22年実績	平成22年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	管理する電子計算機器等（パソコン・プリンター）	台	121	117	116	116
		指標	プリンター購入額	円	299,250	280,980	340,305	443,000
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	故障などの苦情件数	件	40	5	5	0
		指標	作業時間の短縮（ソフトウェア購入費）	円	41,790	0	276,150	277,000
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点	常時使用しているシステム及び機器であり、職員の業務や住民サービスに支障が無いので成果・効果を達している				
		あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点					

4 効果性	(1)事業費の推移		計		-1	点			
	区分	単位	平成20年決算額	平成21年決算額	平成22年決算額	平成22年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額
	事業費	千円	503	652	700			低下している	1点
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点
	地方債	千円				需用費	422,037	上昇している	-1点
	その他	千円				備品購入費	276,150	説明 ソフト(システム)購入を行ったことによる経費の増がある。	
	一般財源	千円	503	652	700				
	(2)手法の効率化		計		1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。		
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。				1点	消耗品について、年度の購入数により経費の増減がある。			
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。				1点	備品については、ソフト購入をすることにより作業時間の短縮や対応できなかった作業が出来るようになった。			
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。				1点				

項目別点数による評価

項目別点数による評価結果

B

↓

項目別点数表

	項目	点数	
1	必要性	2	4
2	有効性	2	
3	達成度	2	2
4	効果性		

→

		必要性+有効性										
		低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高
												6
									A			5
												4
												3
												2
												1
									B			0
												-1
												-2

担当課評価

A

上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。
評価は、次のA～Dによります。

- A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)
- | | |
|------------|-----------|
| 現状のまま事業を継続 | 事業を拡充して継続 |
|------------|-----------|
- B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)
- | | |
|---------------------|----------------------|
| 事業の簡素化、効率化による改善 | 執行体制の見直し(外部委託等)による改善 |
| 事業手法の見直しによる改善 | 住民参加等の推進による改善 |
| 事業内容や契約方法等の見直しによる改善 | その他効果的・効率的手法の検討による改善 |
- C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)
- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 制度・事業内容の全面的な見直しを検討 | 対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討 |
| 必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討 | 他の事業、類似事業への統合・転換を検討 |
| 計画期間の延伸、事業費平準化等を検討 | その他 |
- D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)
- | | | | | |
|----|----|----|----|-----------|
| 廃止 | 統合 | 縮小 | 凍結 | 新たな事業への転換 |
|----|----|----|----|-----------|
- 事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨
- | | | | |
|------|--------------|-------|-----|
| 廃止可能 | 条件が整えば廃止検討可能 | 廃止は困難 | その他 |
|------|--------------|-------|-----|

説明

一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。 行政事務を行う上での基本的な必要経費であるため	今後の改善策等を具体的に記入します。 現在と同様に必要経費しか執行しないことで継続する
--	--

二次評価

A

A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要	C 事業規模、内容の見直しが必要			
D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換

説明

現状のまま事業継続。

三次評価

A

A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要	C 事業規模、内容の見直しが必要			
D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換

説明

引き続き経費の削減に努めること。

平成23年度（平成22年度決算）事務事業評価シート

平成23年 7月27日 作成

		担当課	住民グループ						
事務事業名		高齢者行事費			施策コード	441412			
施策の体系	大項目	全ての源「健康福祉」の充実			法的根拠等	法令	条例	その他	
	中項目	社会福祉の充実							
	小項目	高齢者福祉			実施方法	直営	委託	その他	
	財務名称	高齢者行事費							
事業概要 高齢者の方々を対象に、永年にわたり地域社会の発展に貢献されたご苦勞を讃えるとともに、その長寿を祝福するため敬老会を開催する。 高齢者を中心に障害を持った方々や、保育所、幼稚園園児が一堂に会して、スポーツ等を通して世代間交流を深める。									
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）					
	町内に居住する70歳以上を対象としている。 町内に居住する60歳以上を対象としている。			米寿祝い記念品（1万円の商品券）の贈呈を行い、アトラクションを主とした構成としている。 高齢者を中心に障害を持った方々や保育所、幼稚園園児を対象にして、レクリエーションやスポーツ、ゲームを行っている。					
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）								
			現状維持としたい。						
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	1	点			
	法令等で実施が義務付けられている事業。			1点	追加事由	1点			
	生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。			1点	内部管理・運営等の事業。（点数対象外）				
	社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。			1点	（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
	町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。			1点	高齢者福祉と世代間交流観点から実施している事業				
	民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。			1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点			
	国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。			1点	法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）				
	対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。			1点	（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
	事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。			1点	高齢者が会し憩いと催しを楽しむ場として重要な事業。 年1回高齢者と子ども達がふれあう場として重要な事業				
限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。			1点						
追加事由			1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	3	点			
	施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。			1点	（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
	事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。			1点	引きこもりがちな高齢者に参加意識を啓発する、有効な事業。				
	類似した事業との統合や連携を図る余地はない。			1点					
町民参加と自治意識の向上が図られている。			1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	2	点			
	区分	指標（算式）		単位	平成20年実績	平成21年実績	平成22年実績	平成22年当初計画	
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	ふれあいスポーツ大会		回	1	1	1	1
		(算式)							
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	敬老会		回	1	1	1	1
		(算式)							
		指標	ふれあいスポーツ大会		人	317	287	296	300
		(算式)							
		指標	敬老会		人	659	656	572	600
		(算式)							
活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。			1点	（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。					
意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）			1点	高齢者が多く参加できる事業としての効果は大きい。					
あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）			-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計	点																																																																																																																													
	区分	単位	平成20年決算額	平成21年決算額	平成22年決算額	平成22年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額																																																																																																																											
	事業費	千円	1,054	1,126	1,142		低下している	1点																																																																																																																											
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない																																																																																																																											
	地方債	千円				高齢者行事報償	991	上昇している																																																																																																																											
	その他	千円				高齢者行事需用	102	説明 100歳、88歳の方の人数により変動(記念品等)することによる。																																																																																																																											
一般財源	千円	1,054	1,126	1,142	高齢者行事使用	126																																																																																																																													
項目別点数による評価	(2)手法の効率化				計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																											
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。				1	点	現在の手法による事業費は、参加者及び米寿者等への記念品等報償費が主であり、十分コスト削減を行っている。また、事業運営も効率的に行われている。																																																																																																																												
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。				1	点																																																																																																																													
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。				1	点																																																																																																																													
一次評価(担当課評価)	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																														
	A		<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>点数</th></tr> <tr><td>1 必要性</td><td>2</td></tr> <tr><td>2 有効性</td><td>3</td></tr> <tr><td>3 達成度</td><td>2</td></tr> <tr><td>4 効果性</td><td>1</td></tr> </table>		項目	点数	1 必要性	2	2 有効性	3	3 達成度	2	4 効果性	1	<table border="1"> <tr><th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8~</th><th>高</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>A</td><td></td><td></td><td>6</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>B</td><td></td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>低</td></tr> </table>							0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高							A			6										5										4										3										2										1							B			0										-1										-2										低
	項目	点数																																																																																																																																	
	1 必要性	2																																																																																																																																	
	2 有効性	3																																																																																																																																	
	3 達成度	2																																																																																																																																	
	4 効果性	1																																																																																																																																	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																									
							A			6																																																																																																																									
										5																																																																																																																									
									4																																																																																																																										
									3																																																																																																																										
									2																																																																																																																										
									1																																																																																																																										
						B			0																																																																																																																										
									-1																																																																																																																										
									-2																																																																																																																										
									低																																																																																																																										
担当課評価		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																																	
A		A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																	
		現状のまま事業を継続				事業を拡充して継続																																																																																																																													
B		B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																	
		事業の簡素化、効率化による改善				執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																													
		事業手法の見直しによる改善				住民参加等の推進による改善																																																																																																																													
		事業内容や契約方法等の見直しによる改善				その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																													
C		C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																	
		制度・事業内容の全面的な見直しを検討				対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																													
		必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討				他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																													
		計画期間の延伸、事業費平準化等を検討				その他																																																																																																																													
D		D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																	
		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																									
		事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨				廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難	その他																																																																																																																								
説明		一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。 経費を極力抑え実施しております。				今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																													
二次評価	庁内委員会評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																											
			D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																										
	説明		現状のまま事業継続。安否確認などにも効果が認められる。																																																																																																																																
三次評価	三次評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																											
			D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																										
	説明																																																																																																																																		

平成23年度（平成22年度決算）事務事業評価シート

平成23年 8月 4日 作成

		担当課	住民グループ					
事務事業名		墓地維持管理費			施策コード	224417		
施策の体系	大項目	快適な生活環境の整備			法的	法令	条例	その他
	中項目	快適な環境の整備			根拠等	墓地・墓地公園条例		
	小項目	環境衛生			実施	直営	委託	その他
	財務名称	墓地維持管理費			方法			
事業概要	墓地の維持管理に関する事業							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	墓地を対象としている。			墓地の清掃、修繕、植生管理等業務				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）			墓参者が快適に利用できる状態を維持する。				
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由		1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		墓地の公衆衛生保持のために必要な事業			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	2	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法当が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-	
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		墓地の公衆衛生保持のために必要な事業			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		墓地の公衆衛生保持のために必要な事業			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	1	点		
	区分	指標（算式）		単位	平成20年実績	平成21年実績	平成22年実績	平成22年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	町管理墓地数	ヶ所	11	11	11	11
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	墓地公園区画数	区画	403	403	484	484
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	苦情処理数	件	0	0	0	0
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	苦情処理数	件	0	0	0	0
		(算式)						
	活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
	意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		快適に利用できる状態を維持している。				
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計	点					
	区 分	単位	平成20年決算額	平成21年決算額	平成22年決算額	平成22年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額			
	事業費	千円	539	849	521		低下している	1点			
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない			
	地方債	千円				墓地維持管理委	248	上昇している			
	その他	千円				管理人報償費	99	期待した成果を上げている。			
(財源内訳)	一般財源	千円	539	849	521	他	174	説明			
項目別点数による評価	(2)手法の効率化				計	2	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。			
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。				1	点	現状で適当である。				
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。				1	点					
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。				1	点					
一次評価(担当課評価)	項目別点数による評価結果	項目別点数表				低 必要性+有効性 高					
	A		項目	点数	0 1 2 3 4 5 6 7 8~						
		1	必要性	4	6						
		2	有効性	2	4						
		3	達成度	1	3						
		4	効果性	2	2						
					1						
					0						
					-1						
					-2						
担当課評価	上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA～Dによります。										
A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)	現状のまま事業を継続										
B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)	事業を拡充して継続										
C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)	事業の簡素化、効率化による改善										
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)	執行体制の見直し(外部委託等)による改善										
	事業手法の見直しによる改善										
	住民参加等の推進による改善										
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善										
	その他効果的・効率的手法の検討による改善										
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。					
	墓地の公衆衛生保持のために必要な事業					今後も継続的に墓地の衛生環境を保持するよう努める。					
二次評価	庁内委員会評価	A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要					
		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換			
	説明	現状のまま事業継続。									
三次評価	三次評価	A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要					
		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換			
	説明	町民ニーズの高まりもあり、今後の推移により事業拡大の検討が必要。									

平成23年度（平成22年度決算）事務事業評価シート

平成23年 8月 4日 作成

		担当課	住民グループ					
事務事業名		ごみ減量化対策費			施策コード	224243		
施策の体系	大項目	快適な生活環境の整備			法的	法令	条例	その他
	中項目	快適な環境の整備			根拠等	購入費補助金交付要綱		
	小項目	し尿・ゴミ			実施	直営	委託	その他
	財務名称	ごみ減量化対策費			方法			
事業概要	生ごみが資源として循環して利用される社会の形成及び処理経費節減の一環として、家庭から排出される生ごみの自家処理を普及促進することを目指し、生ごみを自家処理するため、コンポスト、EMポカシ容器及び電動生ごみ処理機を購入する者に対して、予算の範囲内において町がその一部を補助する。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	町内住民			EMバケツ、コンポスト、電動処理機の購入に対して助成金を交付している。				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
			循環型社会形成のための取り組みをして利用の拡大を図る。					
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	3	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	1点			
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点	（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点	EMバケツ、コンポスト、電動処理機の購入に対して助成金を交付している。				
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-	
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点	生ごみを堆肥化することで、家庭から出るごみを減らすことができる。				
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点	生ごみを堆肥化することで、家庭から出るごみを減らすことができる。				
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
		町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点					
3 達成度	(1)達成度の測定			計	点			
	区分	指標（算式）		単位	平成20年実績	平成21年実績	平成22年実績	平成22年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	助成件数	件	19	10	4	32
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	助成金額	円	100,300	14,400	7,100	250,000
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点	使用方法を周知し促進を図っているものの達成度は低い。				
		あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点					

4 効果性	(1)事業費の推移		計			点																																																																																																																																
	区 分	単位	平成20年決算額	平成21年決算額	平成22年決算額	平成22年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																													
	事業費	千円	101	15	8			低下している	1点																																																																																																																													
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																													
	地方債	千円				負担金補助及び	8	上昇している	-1点																																																																																																																													
	その他	千円						説明	利用が減少しており手法の検討を要す。																																																																																																																													
	一般財源	千円	101	15	8																																																																																																																																	
	(2)手法の効率化		計			1		点																																																																																																																														
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1点		利用が減少しており手法の検討を要す。																																																																																																																														
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1点																																																																																																																																
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1点																																																																																																																																
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低		必要性+有効性		高																																																																																																																													
	B		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th rowspan="2">6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td></td> <th rowspan="2">1</th> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数	6	1	必要性	4	2	有効性	2	3	達成度		1	4	効果性	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>低</td> </tr> </tbody> </table>		0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高							A			6										5										4										3										2										1							B			0										-1										-2										低	達成度+効果性
	項目	点数	6																																																																																																																																			
1	必要性	4																																																																																																																																				
2	有効性	2																																																																																																																																				
3	達成度		1																																																																																																																																			
4	効果性	1																																																																																																																																				
0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																													
						A			6																																																																																																																													
									5																																																																																																																													
									4																																																																																																																													
									3																																																																																																																													
									2																																																																																																																													
									1																																																																																																																													
						B			0																																																																																																																													
									-1																																																																																																																													
									-2																																																																																																																													
									低																																																																																																																													
担当課評価	B		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA～Dによります。																																																																																																																																			
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)		現状のまま事業を継続		事業を拡充して継続																																																																																																																																	
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)		事業の簡素化、効率化による改善		執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																	
			事業手法の見直しによる改善		住民参加等の推進による改善																																																																																																																																	
			事業内容や契約方法等の見直しによる改善		その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																	
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)		制度・事業内容の全面的な見直しを検討		対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																	
			必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討		他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																	
			計画期間の延伸、事業費平準化等を検討		その他																																																																																																																																	
	D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																											
			事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨		廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他																																																																																																																											
	説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。		今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																		
継続すべき事業ではあるが利用者が減少しており、他の手法も検討を要する。		具体的な改善方の検討を課題としている。																																																																																																																																				
二次評価	庁内委員会評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																															
	B		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小																																																																																																																													
	説明		当該事業の他、各家庭から排出されるのゴミ削減に向けた取り組みなどを周知する啓発活動が必要である。																																																																																																																																			
三次評価	三次評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																															
	B		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小																																																																																																																													
	説明		効果を高めるため、コンポストなどのPRの工夫が必要。																																																																																																																																			

平成23年度（平成22年度決算）事務事業評価シート

平成23年 8月 4日 作成

		担当課	住民グループ					
事務事業名		火葬場費		施策コード	441417			
施策の体系	大項目	快適な生活環境の整備		法的	法令	条例	その他	
	中項目	快適な環境の整備		根拠等	火葬場設置及管理条例			
	小項目	環境衛生		実施	直営	委託	その他	
	財務名称	火葬場費		方法				
事業概要	人生の終焉の場である火葬場の運営事業							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	死亡人			ご遺族様に失礼の無いよう厳粛に行うことを心がけている。				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
御骨								
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	3	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	1点			
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）			
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点	（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点	町の責務としての事業				
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	2	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）			
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点	町の責務としての事業				
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	1	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。	1点	町の責務としての事業				
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	2	点		
	区分	指標（算式）		単位	平成20年実績	平成21年実績	平成22年実績	
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	火葬件数	件	74	79	99	80
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	利用者からの苦情	件	0	0	0	
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点	ご遺族様に失礼の無いよう厳粛に行うことを心がけている。				
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計	点																																																																																																																													
	区 分	単位	平成20年決算額	平成21年決算額	平成22年決算額	平成22年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額																																																																																																																											
	事業費	千円	8,818	4,014	7,096		低下している	1点																																																																																																																											
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない																																																																																																																											
	地方債	千円				臨時職員賃金	4,195	上昇している																																																																																																																											
	その他	千円				火葬場費・需用	1,358	工事請負費を除く																																																																																																																											
(財源内訳)	一般財源	千円	8,818	4,014	7,096	他	1,543	説明																																																																																																																											
項目別点数による評価	(2)手法の効率化				計	2	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																											
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。				1点	現在の状態を維持する。																																																																																																																													
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。				1点																																																																																																																														
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。				1点																																																																																																																														
一次評価(担当課評価)	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																														
	A		<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>点数</th></tr> <tr><td>1 必要性</td><td>5</td></tr> <tr><td>2 有効性</td><td>1</td></tr> <tr><td>3 達成度</td><td>2</td></tr> <tr><td>4 効果性</td><td>2</td></tr> </table>		項目	点数	1 必要性	5	2 有効性	1	3 達成度	2	4 効果性	2	<table border="1"> <tr><th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8~</th><th>高</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>A</td><td></td><td></td><td>6</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>B</td><td></td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>低</td></tr> </table>							0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高							A			6										5										4										3										2										1							B			0										-1										-2										低
	項目	点数																																																																																																																																	
	1 必要性	5																																																																																																																																	
	2 有効性	1																																																																																																																																	
	3 達成度	2																																																																																																																																	
	4 効果性	2																																																																																																																																	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																									
							A			6																																																																																																																									
										5																																																																																																																									
									4																																																																																																																										
									3																																																																																																																										
									2																																																																																																																										
									1																																																																																																																										
						B			0																																																																																																																										
									-1																																																																																																																										
									-2																																																																																																																										
									低																																																																																																																										
担当課評価		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA～Dによります。																																																																																																																																	
A		A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																	
		現状のまま事業を継続				事業を拡充して継続																																																																																																																													
B		B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																	
		事業の簡素化、効率化による改善				執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																													
		事業手法の見直しによる改善				住民参加等の推進による改善																																																																																																																													
		事業内容や契約方法等の見直しによる改善				その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																													
C		C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																	
		制度・事業内容の全面的な見直しを検討				対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																													
		必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討				他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																													
		計画期間の延伸、事業費平準化等を検討				その他																																																																																																																													
D		D 事業の抜本的見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																	
		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																									
		事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨				廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難	その他																																																																																																																								
説明		一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。				今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																													
		町の責務としての事業です。																																																																																																																																	
二次評価	庁内委員会評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																											
			D 事業の抜本的見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																										
	説明		現状のまま継続。																																																																																																																																
三次評価	三次評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																											
			D 事業の抜本的見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																										
	説明																																																																																																																																		

平成23年度（平成22年度決算）事務事業評価シート

平成23年 7月19日 作成

		担当課	福祉グループ					
事務事業名		“がん”なんかに負けないぞ事業費		施策コード				
施策の体系	大項目	全ての源「健康福祉」の充実		法的根拠等	法令	条例	その他	
	中項目	健康づくりの推進						
	小項目	保健予防		実施方法	直営	委託	その他	
	財務名称	“がん”なんかに負けないぞ事業費						
事業概要	がん対策会議、がん予防講演会の開催。健康カレンダー及び食生活改善パンフレット等の作成。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	一般成人 (2)意図（対象をどのような状態にしたいのか） (1)がん予防の意識を改革し、受診率の向上を図る。 (2)食生活改善によって、がんと関連性の高い生活習慣病を予防する。			(1)広報誌やチラシ等による啓発 (2)健康カレンダーの全戸配布				
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）		計	1	点			
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	1点			
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）			
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		町民のがん予防のため、自治体の最低限の施策の一つである。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等		計	2	点			
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）			
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		現在の死亡原因の第1位であるがんにかからないようにするために、町民への意識啓発活動。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性		計	2	点			
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		予防医療としての効果が大きい。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定		計	1	点			
	区分	指標（算式）	単位	平成20年実績	平成21年実績	平成22年実績	平成22年当初計画	
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	がん対策会議・研修会実施回数	回	2	2	2	2
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	参加人数	人	111	61	130	100
		(算式)						
		指標	大腸がん検診	人	259	295	327	295
		(算式)						
		指標	乳がん検診	人	153	173	177	146
		(算式)						
	活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
	意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		健康カレンダー及びがん対策会議については徐々に町民に浸透してきている。				
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計	1	点																																																																																																																																			
	区分	単位	平成20年決算額	平成21年決算額	平成22年決算額	平成22年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																																	
	事業費	千円	2,984	2,519	1,962			低下している	1点																																																																																																																																	
	国・道費	千円	2,984	2,519	1,962	区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																																	
	地方債	千円	0	0	0	需用費	1,762	上昇している	-1点																																																																																																																																	
	その他	千円	0	0	0			説明	財源については、全額北海道補助金である。																																																																																																																																	
	(2)手法の効率化				計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																																		
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1点	町民の意識改革のため、健康づくり推進員等が地区ごとに検診受診率の向上促進を図っている。																																																																																																																																			
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1点																																																																																																																																				
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1点																																																																																																																																				
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																																					
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>3</td> <td rowspan="2">5</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>1</td> <td rowspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	3	5	2	有効性	2	3	達成度	1	3	4	効果性	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>低</th> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> </tbody> </table>							低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高											6								A			5											4											3											2											1								B			0											-1										
	項目	点数																																																																																																																																								
1	必要性	3	5																																																																																																																																							
2	有効性	2																																																																																																																																								
3	達成度	1	3																																																																																																																																							
4	効果性	2																																																																																																																																								
低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																																
										6																																																																																																																																
							A			5																																																																																																																																
										4																																																																																																																																
										3																																																																																																																																
										2																																																																																																																																
										1																																																																																																																																
							B			0																																																																																																																																
										-1																																																																																																																																
										-2																																																																																																																																
担当課評価	A																																																																																																																																									
上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。評価は、次のA～Dによります。																																																																																																																																										
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																									
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																																				
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																									
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																				
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																																				
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																				
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																									
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																				
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																				
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																																				
説明	D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																									
	廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																	
	事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難	その他																																																																																																																															
	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																				
同様の事業があり、平成23年度から「いきいき健康ふくしま21推進事業」へ統合																																																																																																																																										
二次評価	A 現状にて事業を継続または拡充																																																																																																																																									
	B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																						
	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																															
説明 平成23年度から「いきいき健康ふくしま21推進事業」へ統合して事業継続。																																																																																																																																										
三次評価	A 現状にて事業を継続または拡充																																																																																																																																									
	B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																						
	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																															
説明 検診の受診率の向上に向けた工夫が必要。																																																																																																																																										

平成23年度（平成22年度決算）事務事業評価シート

平成23年 7月21日 作成

		担当課	農林グループ				
事務事業名	農業振興費		施策コード				
施策の体系	大項目	地域を支える産業の充実	法的根拠等	法令	条例	その他	
	中項目	農畜産業の振興					
	小項目	農畜産業	実施方法	直営	委託	その他	
	財務名称	農業振興費					
事業概要	農業生産を安定的に発展させ地域農業の振興を図る						
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）		(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	農業振興に資する者を対象としている。		農業振興を図ることを目的としている関係団体からの補助金交付申請に基づき、補助金を交付している。				
事業の目的	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）						
	総合的な推進方策に基づいた農業生産の向上、農業関係団体への支援を行い地域農業の振興を図る。						
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）		計	2	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点	内部管理・運営等の事業。（点数対象外）	-		
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点	（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点	発展的な農業運営を推進し、安定的な経営を目指す上で支援は必要不可欠である。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点				
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等		計	1	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点	法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）	-		
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点	新規作物に対する農家からの強い要望による。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点					
	追加事由 追加地域農業の発展を目指す取り組みを行っている。	1点					
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性		計	2	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点	農業施策と合致している。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点				
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点					
3 達成度	(1)達成度の測定		計	1	点		
	区分	指標（算式）	単位	平成20年実績	平成21年実績	平成22年実績	
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	とうもろこし生産者	人	0	0	18
		(算式)					15
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	収入額	円			782
		(算式)					500
		指標					
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点	作付人数・収穫額とも計画を上回り、営農意欲拡大につながっている。			
		あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点				

4 効果性	(1)事業費の推移				計	-1	点																																																																																																																																		
	区分	単位	平成20年決算額	平成21年決算額	平成22年決算額	平成22年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																																
	事業費	千円	465	1,026	3,462			低下している	1点																																																																																																																																
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない		0点																																																																																																																															
	地方債	千円			1,000	助成金	1,958	上昇している		-1点																																																																																																																															
	その他	千円				需用費	1,366	説明 農業振興のため、農業団体等への助成を新設したことにより経費は増加している。																																																																																																																																	
	一般財源	千円	465	1,026	2,462																																																																																																																																				
	(2)手法の効率化				計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																																	
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1点	農業活動団体への助成により効率の良い農業を推進することが出来る。																																																																																																																																		
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1点																																																																																																																																			
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1点																																																																																																																																			
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																																				
	B		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>3</td> <td rowspan="2">5</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>1</td> <td rowspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	3	5	2	有効性	2	3	達成度	1	1	4	効果性		<table border="1"> <thead> <tr> <th>低</th> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> </tbody> </table>						低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高											6								A			5											4											3											2											1								B			0											-1										
	項目	点数																																																																																																																																							
1	必要性	3	5																																																																																																																																						
2	有効性	2																																																																																																																																							
3	達成度	1	1																																																																																																																																						
4	効果性																																																																																																																																								
低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																															
										6																																																																																																																															
							A			5																																																																																																																															
										4																																																																																																																															
										3																																																																																																																															
										2																																																																																																																															
										1																																																																																																																															
							B			0																																																																																																																															
										-1																																																																																																																															
										-2																																																																																																																															
担当課評価	A																																																																																																																																								
上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA～Dによります。																																																																																																																																									
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																								
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																																			
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																								
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																			
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																																			
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																			
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																								
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																			
	必要性等を再検証し事業規模、計画等を見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																			
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																																			
説明	D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																								
	廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																
	事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難	その他																																																																																																																														
	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。 農業関係団体の育成支援の観点から、今後も継続的な対応が必要と考えます。					今後の改善策等を具体的に記入します。 農業関係団体が自立した運営を図れるよう支援をしていく必要がある。																																																																																																																																			
二次評価	庁内委員会評価																																																																																																																																								
	A 現状にて事業を継続または拡充			B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																		
三次評価	D 事業の抜本の見直しを検討 ⇨			廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																													
	A																																																																																																																																								
評価点には出ないが、新規作物栽培に対する効果は着実に認められており、今後の生産安定に向けた取り組みの拡大が必要。																																																																																																																																									

平成23年度（平成22年度決算）事務事業評価シート

平成23年 7月25日 作成

		担当課	農林グループ					
事務事業名		森林公園管理費			施策コード			
施策の体系	大項目	地域を支える産業の充実			法的根拠等	法令	条例	その他
	中項目	林業の振興						
	小項目	林業			実施方法	直営	委託	その他
	財務名称	森林公園管理費						
事業概要	町民が自然を満喫できるような公園づくりが必要であり、管理業務を行うことにより公園機能を保つことができる。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	全町民が対象			公園の管理を委託し草刈り等の業務を行う。				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）			全町民が快適に自然を体験できるような公園機能の維持を図る。				
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	町花山ユリの保護のため必要である。	1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）	-		
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		公園の機能を有しており散策コースとしての利用がある			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）	-		
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		公園の利用状況から見て管理は必要と考える。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	1	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		自然が豊富である施設で散策による自然に触れる場の提供を行う			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	1	点		
	区分	指標（算式）		単位	平成20年実績	平成21年実績	平成22年実績	平成22年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	利用者数	人	869	615	497	600
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	利用者一人当たりの管理費	円	1,713	2,198	3,376	2,910
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		管理を委託することによって公園機能が保たれた			
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移		計	-1	点																																																																																																																													
	区分	単位	平成20年決算額	平成21年決算額	平成22年決算額	平成22年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																									
	事業費	千円	1,489	1,352	1,678			低下している	1点																																																																																																																									
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																									
	地方債	千円				委託料	1,229	上昇している	-1点																																																																																																																									
	その他	千円				修繕費	352	説明 施設の老朽化に伴い修繕等が発生が想定される。																																																																																																																										
一般財源	千円	1,489	1,352	1,678																																																																																																																														
項目別点数による評価	(2)手法の効率化		計		点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																												
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。				1点	森林公園の管理は最小限の管理で委託している																																																																																																																												
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。				1点																																																																																																																													
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。				1点																																																																																																																													
一次評価(担当課評価)	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																													
	B		<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>点数</th></tr> <tr><td>1 必要性</td><td>3</td></tr> <tr><td>2 有効性</td><td>1</td></tr> <tr><td>3 達成度</td><td>1</td></tr> <tr><td>4 効果性</td><td>-1</td></tr> </table>		項目	点数	1 必要性	3	2 有効性	1	3 達成度	1	4 効果性	-1	<table border="1"> <tr><th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8~</th><th>高</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>A</td><td></td><td></td><td>6</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>B</td><td></td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>低</td></tr> </table>						0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高							A			6										5										4										3										2										1							B			0										-1										-2										低
	項目	点数																																																																																																																																
	1 必要性	3																																																																																																																																
	2 有効性	1																																																																																																																																
	3 達成度	1																																																																																																																																
	4 効果性	-1																																																																																																																																
	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																								
							A			6																																																																																																																								
										5																																																																																																																								
									4																																																																																																																									
									3																																																																																																																									
									2																																																																																																																									
									1																																																																																																																									
						B			0																																																																																																																									
									-1																																																																																																																									
									-2																																																																																																																									
									低																																																																																																																									
担当課評価		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																																
B		A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																
		現状のまま事業を継続				事業を拡充して継続																																																																																																																												
		B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																
		事業の簡素化、効率化による改善				執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																												
		事業手法の見直しによる改善				住民参加等の推進による改善																																																																																																																												
		事業内容や契約方法等の見直しによる改善				その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																												
		C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																
		制度・事業内容の全面的な見直しを検討				対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																												
		必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討				他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																												
		計画期間の延伸、事業費平準化等を検討				その他																																																																																																																												
		D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																
		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																								
		事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨				廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難 其他																																																																																																																								
説明		一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。 公園機能を維持することが出来る事から必要である。				今後の改善策等を具体的に記入します。 老朽化した施設の改修等も想定される。																																																																																																																												
二次評価	庁内委員会評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																											
	B		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																					
	説明		エゾシカによる食害が多発している状況にあることから、有害鳥獣対策や管理手法等について今後検討が必要である。																																																																																																																															
三次評価	三次評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																											
	B		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																					
	説明		公園の活用方法として、津波等の発生時に避難場所としても有効であると認められるので、防災上の活用方法などの見直しや検討が必要。																																																																																																																															

平成23年度（平成22年度決算）事務事業評価シート

平成23年 7月26日 作成

担当課 水産グループ

事務事業名	試験養殖事業費	施策コード				
施策の体系	大項目	地域を支える産業の充実	法的根拠等	法 令	条 例	その他
	中項目	水産業の振興				
	小項目	水産業	実施方法	直 営	委 託	その他
	財務名称	試験養殖事業費				

事業概要
イトウ養殖・マツモ養殖にかかる試験事業費

事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）	(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）
	漁業者や養殖事業に取り組もうとする者	・青函トンネル排水の有効利用としてイトウの養殖を実施 稚魚は北大水産学部より無償提供を受け育成し、平成15年度より町で試験実施、平成23年度より漁業協同組合で事業実施 ・養殖事業安定を目的にマツモの育成試験を実施 育成試験は漁協青年部、製品製造は漁協女性部で試験製造
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
飼育、製品化・試販を通し事業化可能性を調査する。		

1 必要性	(1) 町関与の根拠（町が行う必要がある事業か） 計 2 点			
	法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由 新たな漁村の養殖技術の確立と事業の可能性	1点
	生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点	内部管理・運営等の事業。（点数対象外）	-
	社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点	（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。	
	町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点	青函トンネルの排水の有効利用と新たな有用海藻の育成、試販を通し事業化を調査する。	
	民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点		
	(2) 社会情勢や町民ニーズの変化等 計 1 点			
	国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点	法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）	-
	対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。	
	事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点	新たな事業可能性のため必要である。	
限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点			
追加事由	1点			

2 有効性	(1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 1 点		
	施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。
	事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点	団体及び漁業者育成上必要である。
	類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点	
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点	

3 達成度	(1) 達成度の測定 計 1 点							
	区分	指標（算式）	単位	平成20年実績	平成21年実績	平成22年実績	平成22年当初計画	
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	イトウ飼育	袋	28	68	37	30
		（算式）						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	イトウ販売	千円	96	209	233	100
		（算式）						
		指標						
		（算式）						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点	イトウの飼育や販売、マツモ養殖の確立などある一定の成果が得られている。				
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移		計			1	点																																																																																																																																
	区分	単位	平成20年決算額	平成21年決算額	平成22年決算額	平成22年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																														
	事業費	千円	251	447	395			低下している	1点																																																																																																																														
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																														
	地方債	千円				需用費	379	上昇している	-1点																																																																																																																														
	その他	千円				使用料及び賃借	80	説明																																																																																																																															
(財源内訳)	一般財源	千円	251	447	395																																																																																																																																		
(2)手法の効率化		計			1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																																
現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1	点																																																																																																																																	
執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1	点																																																																																																																																	
外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1	点																																																																																																																																	
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低		必要性+有効性		高																																																																																																																														
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>3</td> <td rowspan="2">4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>1</td> <td rowspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	3	4	2	有効性	1	3	達成度	1	3	4	効果性	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>低</th> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> </tbody> </table>		低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高											6								A			5											4											3											2											1								B			0											-1											-2	高達成度+効果性
	項目	点数																																																																																																																																					
1	必要性	3	4																																																																																																																																				
2	有効性	1																																																																																																																																					
3	達成度	1	3																																																																																																																																				
4	効果性	2																																																																																																																																					
低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																													
										6																																																																																																																													
							A			5																																																																																																																													
										4																																																																																																																													
										3																																																																																																																													
										2																																																																																																																													
										1																																																																																																																													
							B			0																																																																																																																													
										-1																																																																																																																													
										-2																																																																																																																													
担当課評価	A		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																																				
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																						
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																																	
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																						
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																	
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																																	
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																	
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																						
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																	
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																	
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																																	
D 事業の抜本的見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																							
廃止			統合			縮小			凍結		新たな事業への転換																																																																																																																												
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他																																																																																																																												
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																	
	イトウ養殖については、ある程度の成果が上がった。マツモについては、水温等の影響などまだまだ試験しなければいけない事項がある。					イトウ養殖については、H23年度より漁協へ移管。マツモについては、震災影響のため採苗延期																																																																																																																																	
二次評価	庁内委員会評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																													
					D 事業の抜本的見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小																																																																																																																												
	説明		現状のまま継続する。																																																																																																																																				
三次評価	三次評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																													
					D 事業の抜本的見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小																																																																																																																												
	説明																																																																																																																																						

平成23年度（平成22年度決算）事務事業評価シート

平成23年 6月10日 作成

		担当課	水産グループ					
事務事業名		各船揚場整備事業費			施策コード	1111111		
施策の体系	大項目	地域を支える産業の充実			法的根拠等	法令	条例	その他
	中項目	水産業の振興						
	小項目	水産業			実施方法	直営	委託	その他
	財務名称	船揚場維持管理費						
事業概要	塩釜地区船揚場の改修							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	漁業者			船揚場の改修工事				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）			船揚場を改修し漁業就労環境の改善を図る。				
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	町関与の根拠追加事由	1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）	-		
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点	（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点	漁船の上下架を容易にするとともに、漁業者の就労を改善し漁業意欲の向上を図る。				
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）	-		
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点	漁船の上下架作業がスムーズに行われ漁業活動が容易になった				
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由 漁業者の就労改善が図れる	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点	漁業意欲の向上が図られる。				
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	2	点		
	区分	指標（算式）		単位	平成20年実績	平成21年実績	平成22年実績	平成22年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	利用漁船の上下架が容易にできる	隻	1,460	1,460		
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	利用漁船の隻数	隻	1,460	1,460		
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点	改修を行うことによって効果が上がった				
		あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点					

4 効果性	(1)事業費の推移				計	点																																																																																																																													
	区分	単位	平成20年決算額	平成21年決算額	平成22年決算額	平成22年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額																																																																																																																											
	事業費	千円	1,659	1,554	2,541		低下している	1点																																																																																																																											
	国・道費	千円		1,554		区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																										
	地方債	千円						上昇している	-1点																																																																																																																										
	その他	千円						改修を行うことによって効果が上がった																																																																																																																											
(財源内訳)	一般財源	千円	1,659		2,541		説明																																																																																																																												
項目別点数による評価	(2)手法の効率化				計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																											
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1	点	漁船の上下架作業がスムーズになり効率化が図れた																																																																																																																											
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1	点																																																																																																																												
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1	点																																																																																																																												
一次評価(担当課評価)	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																														
	A		<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>点数</th></tr> <tr><td>1 必要性</td><td>3</td></tr> <tr><td>2 有効性</td><td>2</td></tr> <tr><td>3 達成度</td><td>2</td></tr> <tr><td>4 効果性</td><td>1</td></tr> </table>		項目	点数	1 必要性	3	2 有効性	2	3 達成度	2	4 効果性	1	<table border="1"> <tr><th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8~</th><th>高</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>A</td><td></td><td></td><td>6</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>B</td><td></td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>低</td></tr> </table>							0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高							A			6										5										4										3										2										1							B			0										-1										-2										低
	項目	点数																																																																																																																																	
	1 必要性	3																																																																																																																																	
	2 有効性	2																																																																																																																																	
	3 達成度	2																																																																																																																																	
	4 効果性	1																																																																																																																																	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																									
							A			6																																																																																																																									
										5																																																																																																																									
									4																																																																																																																										
									3																																																																																																																										
									2																																																																																																																										
									1																																																																																																																										
						B			0																																																																																																																										
									-1																																																																																																																										
									-2																																																																																																																										
									低																																																																																																																										
担当課評価		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																																	
A		A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																	
		現状のまま事業を継続				事業を拡充して継続																																																																																																																													
B		B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																	
		事業の簡素化、効率化による改善				執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																													
		事業手法の見直しによる改善				住民参加等の推進による改善																																																																																																																													
		事業内容や契約方法等の見直しによる改善				その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																													
C		C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																	
		制度・事業内容の全面的な見直しを検討				対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																													
		必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討				他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																													
		計画期間の延伸、事業費平準化等を検討				その他																																																																																																																													
D		D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																	
		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																									
		事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨				廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難	その他																																																																																																																								
説明		一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。 当該事業は利用漁船の大型化に伴い先端止壁工の前出により上下架が容易になり漁業就労改善を図るものである。				今後の改善策等を具体的に記入します。 町内には同様の船揚場がある事から、今後も利用者からの要望があるものと予測され、その対策が必要である。																																																																																																																													
二次評価	庁内委員会評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																											
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																										
	説明		現状のまま事業継続。																																																																																																																																
三次評価	三次評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																											
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																										
	説明																																																																																																																																		

平成23年度（平成22年度決算）事務事業評価シート

平成23年 7月26日 作成

担当課 水産グループ

事務事業名		みなと交流館管理運営費			施策コード				
施策の体系	大項目	地域を支える産業の充実			法的根拠等	法令	条例	その他	
	中項目	水産業の振興							
	小項目	水産業			実施方法	直営	委託	その他	
	財務名称	みなと交流館管理運営費							
事業概要	施設の維持管理								
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）				(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	町民				集会施設、福島漁港新港地区利用者のトイレを提供				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）								
施設利用者に対し快適な利用提供									
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か） 計 2 点								
	法令等で実施が義務付けられている事業。				1点	追加事由			1点
	生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。				1点	内部管理・運営等の事業。（点数対象外）			-
	社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。				1点	（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
	町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。				1点	町民の集会場、漁港施設利用者のトイレとして利用がある			
	民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。				1点				
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等 計 1 点								
	国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。				1点	法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）			-
	対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。				1点	（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
	事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。				1点	施設利用者に対し快適な利用を供給			
限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。				1点					
追加事由				1点					
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性 計 1 点								
	施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。				1点	（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
	事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。				1点	利用者に対し有効である			
	類似した事業との統合や連携を図る余地はない。				1点				
町民参加と自治意識の向上が図られている。				1点					
3 達成度	(1)達成度の測定 計 1 点								
	区分	指標（算式）		単位	平成20年実績	平成21年実績	平成22年実績	平成22年当初計画	
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	開館日数	日	215	273	335	180	
		(算式)							
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	利用人数	人	902	789	1,286	200	
		(算式)							
	活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。				1点	（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
	意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）				1点	維持管理することで利用者に対し効果が上がる。			
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）				-1点				

4 効果性	(1)事業費の推移		計		1		点																																																																																																																																
	区 分	単位	平成20年決算額	平成21年決算額	平成22年決算額	平成22年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																														
	事業費	千円	524	738	1,192			低下している	1点																																																																																																																														
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																														
	地方債	千円				需用費	957	上昇している	-1点																																																																																																																														
	その他	千円	524	738	1,192	委託料	234	説明 施設は平成10年度建設の為修繕補修費の増加による。 その他収入 会館利用料 1,206千円																																																																																																																															
一般財源	千円																																																																																																																																						
	(2)手法の効率化		計		点		(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																																
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。				1点		修繕などを行うことにより効果があがる																																																																																																																																
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。				1点																																																																																																																																		
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。				1点																																																																																																																																		
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低		必要性+有効性		高																																																																																																																														
	B		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>3</td> <td rowspan="2">4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>1</td> <td rowspan="2">2</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	3	4	2	有効性	1	3	達成度	1	2	4	効果性	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>低</td> </tr> </tbody> </table>		0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高										6							A			5										4										3										2										1								B		0										-1										-2										低	高達成度+効果性
	項目	点数																																																																																																																																					
1	必要性	3	4																																																																																																																																				
2	有効性	1																																																																																																																																					
3	達成度	1	2																																																																																																																																				
4	効果性	1																																																																																																																																					
0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																														
									6																																																																																																																														
						A			5																																																																																																																														
									4																																																																																																																														
									3																																																																																																																														
									2																																																																																																																														
									1																																																																																																																														
							B		0																																																																																																																														
									-1																																																																																																																														
									-2																																																																																																																														
									低																																																																																																																														
担当課評価	A		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																																				
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																						
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																																	
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																						
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																	
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																																	
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																	
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																						
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																	
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																	
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																																	
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																							
廃止		統合			縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																														
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難	その他																																																																																																																													
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																	
	当初はフェリー竣工に伴う利用者が対象とされていたが、近年では漁港工事に伴う事務所に利用されている。					今後、利用の基本対策、又、修繕費の増加も考えられるので管理を含めた対策を見直しをする必要がある。																																																																																																																																	
二次評価	庁内委員会評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																														
			D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小																																																																																																																														
	説明		将来的な活用方法を検討する必要がある。																																																																																																																																				
三次評価	三次評価		C		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																														
			D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小																																																																																																																														
	説明		現在の施設の活用状況については、一時的なものに限定されており疑問がある。長期的な視点で新たな事業への転換など、活用方法について検討が必要。																																																																																																																																				

平成23年度（平成22年度決算）事務事業評価シート

平成23年 6月24日 作成

		担当課	商工グループ						
事務事業名		横綱の里づくり費			施策コード				
施策の体系	大項目	地域を支える産業の充実			法的	法令	条例	その他	
	中項目	観光の振興			根拠等	観光立国推進基本法			
	小項目	観光			実施	直営	委託	その他	
	財務名称	横綱の里づくり事業費			方法	直接事業等			
事業概要	横綱の里づくり事業の一環として、千代の富士杯争奪相撲大会をはじめ、九重部屋夏合宿による力士招聘に係る事業の実施を図る。また、九重部屋力士の協力を得ながら観光協会と一体となったイベントも実施する。								
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）					
	相撲大会に出場する選手・保護者・関係者及び観光客及び町民を対象としている。			(1)千代の富士杯争奪相撲大会の実施・運営（146,519円） (2)九重部屋夏合宿に係る力士招聘の補助及び期間中の管理（1,900,000円）					
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）			(1)「横綱の里」という町の特色を活かすまちづくりの推進を図る。 (2)観光客の増加を促進し、地域活性化を図る。					
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	1	点			
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由		1点			
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-		
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		「横綱の里」のまちづくりを推進していくための必要不可欠な事業である。				
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点						
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	2	点			
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-		
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		「横綱の里」としての町の特色を活かす事業としては一番の役割を果たしている。				
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点							
	追加事由	1点							
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	3	点			
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		「横綱の里」としてのまちづくりを推進していくにあたり、相撲文化の発展と継承をすることとして有効である。				
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点						
		町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	1	点			
	区分	指標（算式）		単位	平成20年実績	平成21年実績	平成22年実績	平成22年当初計画	
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	九重部屋夏合宿朝稽古日数		日	17	14	15	15
		(算式)							
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	九重部屋夏合宿朝稽古平均見学者数		人	107	161	124	160
		(算式)							
		指標							
		(算式)							
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		「横綱の里」という名のまちづくりの推進として効果をあげている。				
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点							

4 効果性	(1)事業費の推移				計	-1	点			
	区分	単位	平成20年決算額	平成21年決算額	平成22年決算額	平成22年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額	
	事業費	千円	2,026	2,045	2,865			低下している	1点	
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点	
	地方債	千円				報償費	1,936,000	上昇している	-1点	
	その他	千円				修繕費	788,000	説明 夏合宿を継続開催する上での必要性があり、 事業費はほぼ横ばいで推移している。(平成 22年度については鏡山公園の相撲場補修を		
	一般財源	千円	2,026	2,045	2,865	旅費	10,000			
	(2)手法の効率化				計		点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。		
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。						1点	朝稽古期間中に力士関連のイベント(写真撮影・鬘結い実演等)での入館者数の向上を図っている。		
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、 効率化の余地は全くない。						1点			
外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を 削減する余地は全くない。						1点				

項目別点数による評価	項目別点数による評価結果	項目別点数表		必要性+有効性										
	B	項目	点数	低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高
		1	必要性	3							A			6
		2	有効性	3										5
		3	達成度	1										4
		4	効果性	-1							B			3
														2
														1
														0
														-1
														-2

担当課評価	A	上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。
-------	----------	--

一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)			
	現状のまま事業を継続		事業を拡充して継続	
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)			
	事業の簡素化、効率化による改善		執行体制の見直し(外部委託等)による改善	
	事業手法の見直しによる改善		住民参加等の推進による改善	
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善		その他効果的・効率的手法の検討による改善	
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)			
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討		対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討	
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討		他の事業、類似事業への統合・転換を検討	
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討		その他	
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)				
廃止		統合		
縮小		凍結		
新たな事業への転換				
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨				
廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		
廃止は困難		その他		

説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。	今後の改善策等を具体的に記入します。
	「横綱の里」のまちづくりとしての必要不可欠な事業であり、今後も継続して いくべきである。	これからのまちづくり推進をしていくうえで、夏合宿期間中での力士たちとの交流 ができるような新たなイベント等を模索する必要がある。

二次評価	庁内委員会 評価 A	A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要	C 事業規模、内容の見直しが必要			
		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換
		説明	現状のまま事業継続。				

三次評価	三次評価 A	A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要	C 事業規模、内容の見直しが必要			
		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換
		説明	相撲の町として、まちづくりの核となるシンボリックな事業となるものであれば、事業拡大について検討が必要。				

平成23年度（平成22年度決算）事務事業評価シート

平成23年 6月24日 作成

		担当課	商工グループ					
事務事業名		トンネルメモリアルパーク管理費			施策コード			
施策の体系	大項目	地域を支える産業の充実			法的	法令	条例	その他
	中項目	観光の振興			根拠等	トンネルメモリアルパーク管理条		
	小項目	観光			実施	直営	委託	その他
	財務名称	トンネルメモリアルパーク管理費			方法	例 委託事業等		
事業概要	昭和62年の青函トンネル完成に伴い、工事施設の跡地に造成された記念公園を管理運営をする。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	観光客及び町民を対象としている。			(1)公園施設内トイレの清掃業務 (2)公園施設内の植生管理業務				
事業の目的	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
	(1)記念公園としての管理及び公園機能の維持（トイレ清掃・植生管理等）							
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	3	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	公園施設が高台にあるため、災害時の避難場所としても指定されている。	1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		青函トンネルの北海道側の建設工事を担った町として、記念公園の維持管理をしていく必要な事業である。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-	
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		町内の休憩施設として使用されている。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加発掘現場の近くということもあり、作業員の休憩場所として使用されている。	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	1	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		観光としての有効性は低いが、施設の維持管理をすることで、休憩場所としての使用及び避難場所としての活用ができるので有効である。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計		点		
		区分	指標（算式）	単位	平成20年実績	平成21年実績	平成22年実績	平成22年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	開園日数	日	244	244	244	244
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	利用者数	人	1,500	1,500	1,500	1,500
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		主な観光施設としての利用はしていないので、公園利用者数は吉岡地区住民の使用が主で例年一定ではあるが、トイレの利用頻度は上がってきている。			
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移		計			点																																																																																																																																			
	区分	単位	平成20年決算額	平成21年決算額	平成22年決算額	平成22年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																																
	事業費	千円	583	626	544			低下している	1点																																																																																																																																
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																																
	地方債	千円				委託料	434,124	上昇している	-1点																																																																																																																																
	その他	千円				需用費	64,385	説明 継続性が求められる事業であり、事業費はほぼ横ばいで推移している。																																																																																																																																	
一般財源	千円	583	626	544	役務費	43,790																																																																																																																																			
	(2)手法の効率化		計			2		点																																																																																																																																	
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。				1点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																																			
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。				1点	清掃業務については所在地町内会婦人会に委託し、植生管理については森林組合へ委託して管理の効率化を図っている。																																																																																																																																			
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。				1点																																																																																																																																				
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																																				
	B		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>4</td> <td rowspan="2">5</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td></td> <td rowspan="2">2</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	4	5	2	有効性	1	3	達成度		2	4	効果性	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>低</td> </tr> </tbody> </table>						0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高										6							A			5										4										3										2										1							B			0										-1										-2									
	項目	点数																																																																																																																																							
1	必要性	4	5																																																																																																																																						
2	有効性	1																																																																																																																																							
3	達成度		2																																																																																																																																						
4	効果性	2																																																																																																																																							
0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																																
									6																																																																																																																																
						A			5																																																																																																																																
									4																																																																																																																																
									3																																																																																																																																
									2																																																																																																																																
									1																																																																																																																																
						B			0																																																																																																																																
									-1																																																																																																																																
									-2																																																																																																																																
									低																																																																																																																																
担当課評価	A		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																																						
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																								
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																																			
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																								
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																			
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																																			
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																			
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																								
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																			
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																			
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																																			
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																									
廃止			統合			縮小			凍結		新たな事業への転換																																																																																																																														
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他																																																																																																																														
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																			
	一大事業を記念して建設された公園であり、かつ、災害時の避難場所ともなっているため、管理・美化業務を継続的に進めていく必要がある。					施設内の設備(トイレ・展示物)が古くなってきているので、管理維持していくために修繕が必要となってきている。																																																																																																																																			
二次評価	庁内委員会評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																															
			D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																												
	説明		現状のまま事業継続。																																																																																																																																						
三次評価	三次評価		B		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																															
			D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																												
	説明		時期によっては、植生管理などが不十分なことなどで景観が損なわれていることから、管理方法について見直しが必要。																																																																																																																																						

平成23年度（平成22年度決算）事務事業評価シート

平成23年 6月24日 作成

		担当課	商工グループ					
事務事業名		特産品センター管理費			施策コード			
施策の体系	大項目	地域を支える産業の充実			法的	法令	条例	その他
	中項目	観光の振興			根拠等	福島町特産品センター条例		
	小項目	観光			実施	直営	委託	その他
	財務名称	特産品センター管理費			方法	委託事業等		
事業概要	道の駅「横綱の里ふくしま」内の特産品（スルメ・コンブ）販売の施設を管理運営する。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	観光客及び町民を対象としている。			(1)施設の維持管理業務 (2)施設内トイレの清掃業務				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
			(1)特産品販売をする観光拠点施設の維持管理 (2)町内のイベント等の情報の発信元					
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	1	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由		1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		(説明)関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		特産品の販売。また、福島町のPR等の外への発信元となっている。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	3	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-	
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		(説明)妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		道の駅の休憩施設として使用されている。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		(説明)有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。	1点		道の駅内施設及び横綱記念館とも併設していることもあり、観光客に向けての特産品販売をする施設として有効である。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計		点		
	区分	指標（算式）		単位	平成20年実績	平成21年実績	平成22年実績	平成22年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	営業日	日	346	346	311	311
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	利用者数	人	21,435	23,571	20,116	21,000
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		(説明)成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)	1点		ゴールデンウィークと8月を中心に町内の観光拠点として効果をあげている。			
	あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計	点																																																																																																																																				
	区分	単位	平成20年決算額	平成21年決算額	平成22年決算額	平成22年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額																																																																																																																																		
	事業費	千円	1,717	1,847	1,868		低下している	1点																																																																																																																																		
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない																																																																																																																																		
	地方債	千円				需用費	1,126,261	上昇している																																																																																																																																		
	その他	千円				委託料	728,700	説明 継続性が求められる事業であり、事業費はほぼ横ばいで推移している。																																																																																																																																		
一般財源	千円	1,717	1,847	1,868	役務費	13,000																																																																																																																																				
項目別点数による評価	(2)手法の効率化				計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																																		
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。				1	点	施設管理委託業務については福島水産加工協同組合に委託をして効率化を図っている。																																																																																																																																			
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。				1	点																																																																																																																																				
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。				1	点																																																																																																																																				
一次評価(担当課評価)	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																																					
	B		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>4</td> <td rowspan="2">6</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td></td> <td rowspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	4	6	2	有効性	2	3	達成度		1	4	効果性	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>低</td> </tr> </tbody> </table>						0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高										6							A			5										4										3										2										1							B			0										-1										-2										低
		項目	点数																																																																																																																																							
	1	必要性	4	6																																																																																																																																						
	2	有効性	2																																																																																																																																							
	3	達成度		1																																																																																																																																						
	4	効果性	1																																																																																																																																							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																																
										6																																																																																																																																
							A			5																																																																																																																																
									4																																																																																																																																	
									3																																																																																																																																	
									2																																																																																																																																	
									1																																																																																																																																	
						B			0																																																																																																																																	
									-1																																																																																																																																	
									-2																																																																																																																																	
									低																																																																																																																																	
担当課評価		A																																																																																																																																								
上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。評価は、次のA～Dによります。																																																																																																																																										
A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																										
現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																																					
B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																										
事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																					
事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																																					
事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																					
C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																										
制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																					
必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																					
計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																																					
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																										
廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																		
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難	その他																																																																																																																																
説明					説明																																																																																																																																					
一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																					
特産品の販売。また、福島町のPR等の外への発信元となっている施設で、かつ、横網記念館と併設しているので観光としての役割を果たすべき施設であり、今後も継続的な管理運営が必要である。					道の駅からの町の情報発信ということで、特産品だけではなく、両記念館との連携を図りながら、ネット環境等を活用しながら、幅広くPRをしていく。																																																																																																																																					
二次評価	庁内委員会評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																		
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																																	
	説明		現状のまま事業継続。																																																																																																																																							
三次評価	三次評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																		
	B		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																																	
	説明		施設管理の現状は理解するが、道の駅の休憩施設として利用されていることから、立地場所、設備、施設面については今後見直しが必要。																																																																																																																																							

平成23年度（平成22年度決算）事務事業評価シート

平成23年 7月19日 作成

		担当課	建設グループ					
事務事業名		道路橋梁総務費			施策コード			
施策の体系	大項目	快適な生活環境の整備			法的	法令	条例	その他
	中項目	総合交通体系の整備			根拠等	福島町街路灯補助交付		
	小項目	道路			実施	直営	委託	その他
	財務名称	道路橋梁総務費			方法	規則		
事業概要	街路灯事業（街灯料助成、町内会街灯設置補助、街灯維持修繕、電気料） 道路台帳整備事業（道路台帳の変更更新）							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	町民及び道路利用者			町内会街灯料の75%助成 町内会街灯設置費の50%補助 街灯の維持補修（電球補修時にLEDに変更） 街路灯電気料 道路台帳の変更更新				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）			道路の安全な通行				
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由		1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		街路灯事業について福島町街路灯補助交付規則により町内会の街灯料の負担分を軽減するため。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点		道路台帳事業について現状の把握及び交付税算定の基準になる数値のため変更がある場合には更新が必要である。			
		(2)社会情勢や町民ニーズの変化等	計	2	点			
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-	
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		街路灯助成事業について町内会要望により負担率の増加を求められている。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		道路使用時の安全性の確保及び防犯に寄与している。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
		町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点					
3 達成度	(1)達成度の測定			計	1	点		
		区分	指標（算式）	単位	平成20年実績	平成21年実績	平成22年実績	平成22年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	街灯料助成事業	件	29	29	29	29
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	街灯設置補助	件	1	1	3	3
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	道路橋梁総務費	千円	5,096	4,393	5,378	5,497
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		町管理の街路灯について水銀灯以外の街路灯補修はLEDに変更している。			
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移		計	-1	点									
	区分	単位	平成20年決算額	平成21年決算額	平成22年決算額	平成22年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額					
	事業費	千円	5,096	4,393	5,378			低下している	1点					
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点					
	地方債	千円				負担金・補助及	2,384,000	上昇している	-1点					
	その他	千円				需用費	2,049,674	説明 街路灯電気料補助金の補助率を50%から75%に引き上げたため。						
一般財源	千円	5,096	4,393	5,378										
	(2)手法の効率化		計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。								
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					電球交換の補修についてはLEDに変更している。								
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1点								
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1点								
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高									
	B		項目	点数	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高
		1	必要性	4							A			6
		2	有効性	2										5
		3	達成度	1										4
		4	効果性											3
														2
														1
											B			0
														-1
														-2
一次評価(担当課評価)	担当課評価		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。											
	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)													
	現状のまま事業を継続		事業を拡充して継続											
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)													
	事業の簡素化、効率化による改善		執行体制の見直し(外部委託等)による改善											
	事業手法の見直しによる改善		住民参加等の推進による改善											
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善		その他効果的・効率的手法の検討による改善											
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)													
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討		対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討											
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討		他の事業、類似事業への統合・転換を検討											
計画期間の延伸、事業費平準化等を検討		その他												
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)														
廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換						
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨		廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他						
説明		一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。 街路灯事業については、道路の安全確保を目的にしているため事業の継続が望ましい。 また、道路台帳整備事業についても現状の道路状況の把握や交付税算定にかかわる資料なので現状継続が望ましい。				今後の改善策等を具体的に記入します。 街灯助成金について、現状の75%を維持する。								
二次評価	庁内委員会評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要						
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換					
説明		現状のまま事業継続。												
三次評価	三次評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要						
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換					
説明		町内会の規模にもより財政状況は異なるが、街灯料補助制度は目的に合っている。												

平成23年度（平成22年度決算）事務事業評価シート

平成23年 7月 7日 作成

		担当課	建設グループ					
事務事業名		公園費			施策コード			
施策の体系	大項目	快適な生活環境の整備			法的	法令	条例	その他
	中項目	快適な環境の整備			根拠等	都市公園法		
	小項目	公園緑地			実施	直営	委託	その他
	財務名称	公園費			方法			
事業概要	福島町都市公園施設の維持管理を行う。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	福島町都市公園を対象とする。			劣化及び破損部の補修及び植生等の維持管理				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
施設を正常な状態に保つ。 樹木や植生の管理を行う。								
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由		1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		都市公園法及び福島町都市公園条例による。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	2	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-	
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		都市公園法及び福島町都市公園条例による。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	1	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。	1点		維持修繕によって施設が健全に保たれる。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	1	点		
	区分	指標（算式）		単位	平成20年実績	平成21年実績	平成22年実績	平成22年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	施設数	箇所	2	2	2	2
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	補修件数	回	4	5	4	4
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		維持修繕によって施設が健全に保たれている。			
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計	1	点																																																																																																																																				
	区分	単位	平成20年決算額	平成21年決算額	平成22年決算額	平成22年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																																		
	事業費	千円	6,956	10,466	6,018			低下している	1点																																																																																																																																		
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																																		
	地方債	千円				委託料	3,780,006	上昇している	-1点																																																																																																																																		
	その他	千円				需用費	2,064,147	説明 前年度に樹木剪定を行ったことによりコストが低下した。																																																																																																																																			
	一般財源	千円	6,956	10,466	6,018																																																																																																																																						
	(2)手法の効率化				計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																																			
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。							1点																																																																																																																																			
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。							1点																																																																																																																																			
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。							1点																																																																																																																																			
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																																						
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>4</td> <td rowspan="2">5</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>1</td> <td rowspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	4	5	2	有効性	1	3	達成度	1	3	4	効果性	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>低</td> </tr> </tbody> </table>							0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高										6							A			5										4										3										2										1							B			0										-1										-2										低
		項目	点数																																																																																																																																								
	1	必要性	4	5																																																																																																																																							
	2	有効性	1																																																																																																																																								
	3	達成度	1	3																																																																																																																																							
	4	効果性	2																																																																																																																																								
	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																																	
										6																																																																																																																																	
							A			5																																																																																																																																	
									4																																																																																																																																		
									3																																																																																																																																		
									2																																																																																																																																		
									1																																																																																																																																		
						B			0																																																																																																																																		
									-1																																																																																																																																		
									-2																																																																																																																																		
									低																																																																																																																																		
担当課評価		A																																																																																																																																									
上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA～Dによります。																																																																																																																																											
A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																											
現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																																						
B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																											
事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																						
事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																																						
事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																						
C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																											
制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																						
必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																						
計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																																						
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																											
廃止			統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																		
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難																																																																																																																																		
説明		一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。 継続して行っている事業のため比較的良好的な状態が保たれている。				今後の改善策等を具体的に記入します。 経年劣化による老朽化による破損状況が多くなってきているため、改修等も必要である。																																																																																																																																					
二次評価	庁内委員会評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																			
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																																		
	説明		現状のまま事業継続。																																																																																																																																								
三次評価	三次評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																			
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																																		
	説明		利用者のニーズを把握し、適正な維持管理に努めること。																																																																																																																																								